

## 【17】 奇勝「阿波の土柱」

「阿波の土柱」について調べたり、観察したりして、土柱という珍しい地形ができた理由やその変化について理解しよう。



波濤嶽(昭和9年国指定天然記念物)



遊歩道から見た波濤嶽



波濤嶽(全景)

### 土柱について

土柱は、礫<sup>れき</sup>や砂からなる地層が風雨により侵食され柱状になった、世界的にも大変珍しい地形です。一般には柱の頂には礫がのり、その礫に保護された部分のみが侵食を免れて土柱ができたと考えられています。そのため、個々の土柱の頂には、礫がのっていることが多く見られます。

「阿波の土柱」とは、徳島県阿波市にある土柱のことで、1934(昭和9)年に国の天然記念物に指定されました。一般によく知られているのは、千帽子山<sup>せんぼうしさん</sup>の南東にある波濤嶽<sup>はとうだけ</sup>です。この他にも高歩頂山<sup>たかぶつちようざん</sup>の南東にある橘嶽<sup>たちばなだけ</sup>、扇子嶽<sup>せんすだけ</sup>、円山<sup>まるやま</sup>の南東にある灯籠嶽<sup>とうろうだけ</sup>、不老嶽<sup>ふろだけ</sup>などがあります。

徳島県阿波市の「阿波の土柱」は、アメリカ合衆国・ロッキー山脈の土柱や、イタリア・チロル地方の土柱と並び、「世界三大土柱」のひとつとされています。

※礫—粒径2mm以上の岩石の破片のこと。



燈籠嶽



筵嶽



不老嶽



橘嶽



ライトアップされた波瀾嶽



阿波の土柱 地図(阿波市ホームページより)

## チャレンジ

①「阿波の土柱」を観察に行ってみよう。

(方法)

● 全体の様子を観察

- ・ 観察する場所のまわりの地形には、どのような特徴があるか見渡す。
- ・ 正面の展望台から、土柱の全容を観察する。
- ・ 礫層と泥層(シルト層)の様子を観察する。
- ・ 全体をスケッチする。(または写真を撮る)

● くわしく観察

- 地層の色、厚さ、傾き、粒の大きさや形、手でさわった感じなどを記録する。
- ・ 礫の形や大きさも観察する。

(観察に必要なもの)

- ルーペ、巻き尺、方位磁針、手袋、帽子、袋、地形図、スケッチ板、色鉛筆グラフ用紙、カメラなど

(交通)

- 徳島自動車道の阿波パーキングエリアから北へ、徒歩約7分
- 県道阿波土柱線(198号線)を北上し、徳島自動車道阿波パーキングエリアを過ぎて、初めての交差点を北へ。
- JR徳島線学駅からバス乗り換え、市場交通土柱行きで終下車(1日2往復)

(注意)

- 危険な場所には近づかないようにしましょう。
- 観察には、大人と一緒にいきましょう。
- 阿波の土柱は天然記念物です。石を持ち帰ったり、ハンマーで石を割ったりしてはいけません。

②今回は、徳島県にある珍しい地形として「阿波の土柱」を紹介しましたが、皆さんの住んでいる地域にも特徴的な地形はないか、探してみましょう。



アメリカ・ユタ州グライスキャニオン国立公園にあるトールハンマー(土柱)  
(Luca Galuzzi-www.galuzzi.it)



イタリア・南チロル地方オーバーボーツェンの土柱(提供:岩谷 哲)